

# きらら保育園 平成29年度事業報告

## 保育目標

人と人との関わりを大切にし、家庭と力を合わせ

人を信じられる子どもを育てる

## 特別保育の実施状況

### 延長保育促進事業

7:15~18:15 (11時間)    18:15~18:45 (30分 延長保育部分)

### 一時預かり事業

月	4月	5月	6月	合計
利用園児延数(人)	42	60	76	
月	7月	8月	9月	
利用園児延数(人)	63	48	49	
月	10月	11月	12月	
利用園児延数(人)	73	71	59	
月	1月	2月	3月	681
利用園児延数(人)	42	50	48	

## 年間保育日数及び出席率

月	4月	5月	6月	合計
在籍延人数(人)	1656	1656	1751	
出席延人数(人)	1384	1328	1443	
出席率	84%	80%	82%	
月	7月	8月	9月	
在籍延人数(人)	1775	1872	1752	
出席延人数(人)	1369	1336	1364	
出席率	77%	71%	78%	
月	10月	11月	12月	
在籍延人数(人)	1800	1728	1656	
出席延人数(人)	1399	1406	1346	
出席率	78%	81%	81%	
月	1月	2月	3月	20830
在籍延人数(人)	1656	1656	1872	
出席延人数(人)	1244	1229	1414	
出席率	75%	74%	76%	78%

## きらら保育園 平成29年度 保護者会事業及び保育園行事報告

実施月日	事業及び行事	内 容
4月3日(月)	※ 入園式	
4月15日(土)	※ 保護者会総会・第1回役員会	新役員挨拶 デポー高田さん講演
5月2日(火)	子どもの日	こいのぼり持ち帰り
6月28日(水)	歯科検診・内科検診	松茂内科・高瀬歯科
6月1日(水)～ 6月30日(木)	※ 個人懇談	
7月7日(金)	七夕	
7月22日(土)	※ 夕涼み会	ハレルヤスイーツキッチン
8月12日(土)～ 8月15日(火)	お盆希望保育	
8月26日(土)～ 8月27日(日)	お泊り保育	きらら組・昨年卒園児
9月上旬( )	敬老の日	葉書投函(子どもの写真のみ)
9月30日(土)	※ 親子ふれあいフェスティバル	松茂町第2体育館
11月18日(土)	親子遠足	月見が丘海浜公園(全園児) 10月21日(土)雨天のため園で過ごす
11月8日(水)	阿波踊り空港見学	きらら組
11月11日(土)	靖美福祉会合同研修	
11月17日(金)	歯科検診・内科検診	
11月20日(月)	異年齢保育説明会	つき組・そら・スター組
11月21日(火)	就学に向けての勉強会	スター・きらら組
11月29日(水)	消防自動車来園	避難訓練
12月1日(金)	おもちつき	
12月8日(金)	芋ほり	
12月22日(金)	クリスマス	
12月29日(金)～ 1月3日(水)	年末年始(休園)	
1月15日(月)	どんど焼き	お正月飾りを焼き、無病息災をお願いします
1月27日(土)	わらべの集い	ほし組
2月2日(金)	節分	
2月5日(月)～ 2月28日(水)	※ 個人懇談	
2月22日(金)	修了写真撮影	
3月2日(金)	ひなまつり	
3月13日(火)	公開リトミック	スター・きらら組
3月14日(水)	遊 山	お弁当を持って遊山に行く(つき・ほし組)
3月12日(月)～ 3月14日(水)	クラス懇談	新年度のクラスごとで集まり、懇談をする
3月26日(月)	里帰りディ	前年度の卒園児・小学校卒業児が帰ってくる日
3月30日(金)	卒園式	卒園式はほし組のみ

### 《毎月行事》

- 身体測定、避難訓練、おはなしの日(ほし組)、リトミック(きらら・スター組)、けん玉
- ファミリー・スマイルディ(おもちゃの貸出日)があります。(毎月10日前後)
- お誕生会は、誕生日に一人ひとりをクラスでお祝いします。
- ほし組より(年間通して)、誕生日保育参加(9時から昼食後)と一日保育参加(9時から16時)を行っています(保育参加後は必ずお子様と降園のお願いをしています。必ずどちらか一日の参加を促します。)
- ほし組は11月～3月の間、月一回お弁当持参日をもうけ、散歩に出かけます
- 乳児クラスは(9月～1月)ランチコミュニケーション(13:00～14:30)で園の様子をお伝えしたり、昼食の試食を行っています。

## きらら保育園 重点事項考察

きらら保育園が開園されて15年が過ぎました。定員30名の乳児保育園から、定員60名就学前までの受け入れとなり、今年度初めて幼稚園へ行く4歳児より継続してきららに残る4歳児の数が上回りました。このことから、就学前までの一貫した保育が少しずつですが、地域に根づいてきたように思います。

### ① 異年齢での育ち

幼児では異年齢保育が始まって8年目。異年齢保育の仕上げの年となる5歳児は、年長児としての自覚が芽生え、自分が3,4歳児の時に年長児に優しくしてもらった経験から、自然と下の子の面倒をみたり、リーダーシップをとる姿がみられました。4歳児はそんな5歳児の姿を見つつも、来年、自分が年長児となる準備期間としての心構えができてきているように感じます。また、年少児である3歳児も4,5歳に憧れ、特にけん玉に挑戦しようとする姿が目にとまりました。

### ② 保護者支援

第2子、第3子、第4子と出産する保護者の方が多く、また、子育てをしてみようという気持ちに繋がっていることが保護者支援になっているように感じます。保護者会の出席者が多く保護者自らが主体的に話し合い、子育て中の様々な気持ちを共有してこれからの子育てに活かしていこうとする前向きな保護者の方が増え嬉しく感じます。又、個人懇談では、全員、主任と担任を交えての懇談を行い、発達の気になるお子さんに対してのサポートを外部講師の天満病院言語聴覚士である赤壁先生に繋げることができ、保護者支援に繋がったのではないかと考えています。

### ③ 食育

保育参加の機会がない乳児の保護者に対し、各クラスごとで昼食の試食ときららの食事のこだわりを月に一回、7か月間かけて保護者に伝えました。和食に対するこだわり、食器に対するこだわり、食べること＝生きる事として大切なお子さんを預けてくださる保護者の方に理解してもらう事。このこと伝え続けていくことが大切だと考えています。

### ④ 植栽

今年度は乳児園庭に日影がほしいと、落葉樹、樺（けやき）を植栽しました。早くも新芽が出て葉が大きくなりつつあります。プールまでの暑い日にどのような木陰を作ってくれるのか楽しみです。

### ⑤ 資質向上

職員の人間力向上においては、昼礼での「きらら手帳」の活用、毎日のPDCAサイクルでの見直しが定着し、職員間で意見を出し合いながら、継続することができていること、また、保護者への保育説明もスライドの写真や動画と照らし合わせながら、年齢ごとの発達や遊びを要点をおさえて説明できることのできるリーダーが育ってきました。0歳から6歳までの幅広い子どもの育ちを園全体でバックアップできていると感じる機会が増え、これからも、職員の人間力育成に力を注いでいきたいと思っています。